

# はじめませんか 祈る心のある暮らし

## ○なぜ家庭や会社・お店に神棚を設けるのですか？

昔ながらの家には必ず神棚があり、祖先をまつる仏壇がありました。神々を崇めることと祖先を敬うことは、別のことではありません。自分たちの基を築いてくださった祖先と、様々な恵みを我々に与え育んでくれた天地は、間違いなく繋がっているからです。

どちらかが疎かになると、本来の日本の伝統的な祈りの形は失われてしまい、どちらも成り立たなくなるのです。

家庭や会社・お店に神棚を設けることは、難しいことはありません。

近年は生活様式もかわり、場所がないという方もおられますが、まつることの本質である「おもてなしの心」から外れなければ、簡素であっても身近に設けられるのが望ましいでしょう。日本人が古くから大切にしてきた、日々の生活の何気ない日常に感謝する気持ちが、家庭の安定に繋がるのです。

はじめてみませんか、御札（神棚）のある暮らし。

## ○なぜ神宮大麻と氏神様の御神札を

### おまつりするのですか？

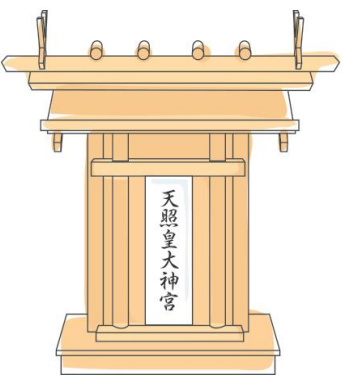
太陽が総ての地を照らし命を与えるように、天照大御神様は各地の神様の御神威（おちから）を高めてくださいます。

神宮大麻と氏神様の御神札を一緒におまつりすることで、より御神威が増すのです。神宮大麻は、伊勢の神宮にお参りすると同じ気持ちで家庭や会社・お店に於いても毎日感謝と祈りを捧げられるようにと、明治天皇の思召しにより皆様の近くの氏神さまから全国に頒布されています。

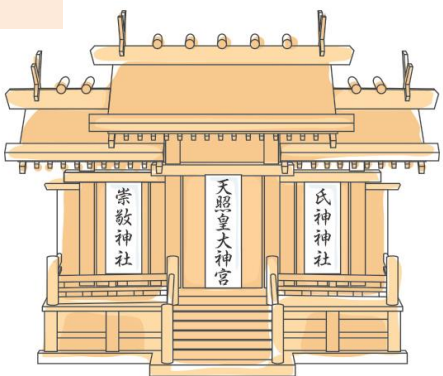
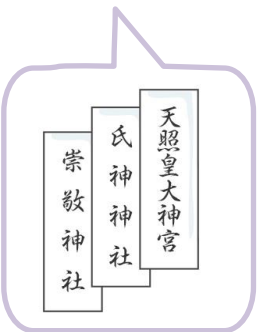
※氏神様の御神札とは、各地域の土地の神様のお神札です。氏神様とご家庭をつなぎ守って下さいませ。

※神宮大麻とは、伊勢の神宮に、おまつりされている天照大御神様への感謝の気持ちを捧げる御神札です。日本とすべての国民の平安を守ってくださいます。何度も祓いをされて、氏神様から皆様に届けられます。

※崇敬神社の御神札とは、個人の特別な信仰等によりお参りされる神社の御神札です。何社もの御神札をおまつりしても構いません。



一社造り



三社造り

## ○どのようにお参りしたらよいですか？

朝夕に、「二拝・二拍手・一拝」の作法でお参りしましょう。

(拝：深い礼、お辞儀のこと)

○御神札は、どんなところにおまつりすればよいですか？

- ・目線より高い場所（棚の上など）が理想ですが、無理のない範囲でおまつりしましょう。（神棚が無い場合は、白い紙や布を敷いておまつりしましょう）
- ・方向は南向きか、東向きが理想ですが、一番身近で清潔な場所がよいでしょう。



簡易神棚を使って  
壁（柱）に

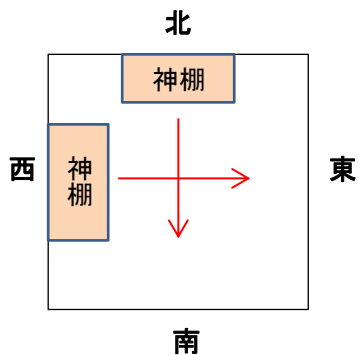


半紙を敷いて



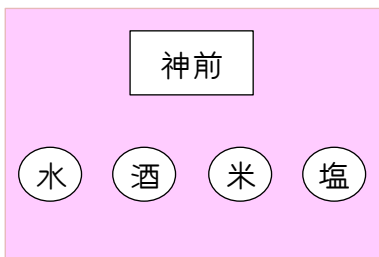
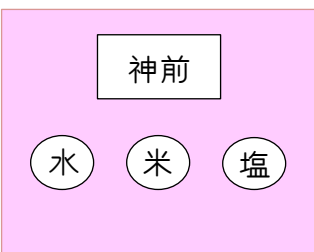
簡易神棚を使って棚の上に

ご自宅に合った  
まつり方を  
探しましょう。  
最近では、モダンな  
神棚もあります。



○何を供えたらよいですか？

- ・基本的には、中央に「米」、向かって右に「塩」、左に「水」をお供えします。
- ・お酒をお供えする場合は、下の図を参考にしてください。
- ・お供え用の器は、神棚専用になれば、形式にとらわれなくてもよいでしょう。
- ・折敷などに載せる場合は、奥側から順となります。
- ・お供えは、毎日が理想ですが、月の初めや中ほどに供えるようにしてもよいでしょう。
- ・お正月や特別な日には、餅や季節の物なども、お供えするとよいでしょう。



○御神札は、毎年新しく受けましょう。

- ・神様は清らかにまつられることで、御神威（おちから）が高まります。
- ・お正月を迎えるにあたり、神棚をきれいにお掃除して神社からお受けした新しい御神札をおまつりし、来るべき新しい年も、家内が無事平安であるようにお祈りしましょう。
- ・今までおまつりしていた古い御神札は、過去の一年間が無事に過ごせたことを感謝して、神社に御礼参りをしてお納めします。
- （神札・お守りをお返しする時期や方法は、神社によって異なります。ご確認下さい）

○親族・家族に不幸があった場合、御神札を受けることは出来ますか？

親族・家族の死を悼むのは大事な心の問題ですが、一般的に四十九日（神道では五十日）が過ぎれば「忌明け」となり、御神札をお受けすることができます。